

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室（企画推進）
職名・氏名	カイン スミダ カズアキ 課員 角田 和明
電話番号	075-645-2254
（夜間）	075-642-1111（大代表）
e-mail	kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 数理・情報科学課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 行信 萩野 昭裕 池田 行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている浄土真宗本願寺派総長の就退任による(6) 寄附行為第6条に規定されている浄土真宗本願寺派総長の就退任による(7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代(7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代(3) 任期満了による交代(5) 任期満了による交代(7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考					
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員										
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後									
先端理工学部 数理・情報科学課程 学士（理学）	4 年	95 人	103 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	384 人	416 人	令和4 年度	—							
対 象 年 度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 103 (2) [2]	人 103 (2) [2]	人 103 (2) [2]	人 103 (2) [2]	— 春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳 0.94倍			—				
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1,055 (—) [1]	— (—) [—]	1,258 (—) [1]	— (—) [—]						1,025 (—) [1]	829 (—) [—]	— (—) [—]
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	958 (—) [1]	— (—) [—]	1,105 (—) [1]	— (—) [—]						973 (—) [0]	792 (—) [—]	— (—) [—]
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	544 (—) [1]	— (—) [—]	547 (—) [1]	— (—) [—]						515 (—) [0]	498 (—) [—]	— (—) [—]
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	112 (—) [1]	— (—) [—]	104 (—) [1]	— (—) [—]						93 (—) [0]	90 (—) [—]	— (—) [—]
入学定員超過率 B / A	—	—	—	—	1.08	—	1.00	—						0.90	—	0.87

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
文学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度		令和5年度入学生より学生募集停止	
真宗学科	4	880	3年次28	3,576	-	1.05	1.01	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1		
仏教学科	4	145	3年次6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	昭和24	同上		
哲学科	4	118	3年次5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上		
臨床心理学科	4	148	3年次4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	平成24	同上		
歴史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和24	同上		
日本語日文学科	4	267	3年次9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	平成4	同上		
英語英米文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上		
経済学部	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上	令和7年度開設	
現代経済学科	4	600	3年次12	2,424	-	1.06	1.02	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地		
国際経済学科	4	360	3年次7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	同上		
経営学部	4	240	3年次5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	令和7	同上	令和7年度開設	
経営学科	4	540	3年次3	2,107	-	1.02	1.00	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地		
商学科	4	380	3年次3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	令和7	同上		
法学部	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	-	令和7	同上	令和7年度開設	
法律学科	4	445	3年次5	1,790	-	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地		
理工学部	4	445	3年次5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	令和2年度入学生より学生募集停止	
数理情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	同上		
電子情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上		
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上		
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上		
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上	令和7年度開設	
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地		
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上	令和7年度入学生より学生募集停止	
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成28	同上		
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	令和7	同上		
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	-	令和7	同上	令和7年度開設	
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地		
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地	令和27年度入学生より学生募集停止	
政策学部	4	308	3年次5	1,242	-	1.06	1.04	-	平成23	同上		
政策学科	4	308	3年次5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	同上		

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99	-			
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00	-			
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-	-			
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-	-			
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等

（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」としては、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 知能情報メディア課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室（企画推進）
職名・氏名	カイン 課員 スミダ 角田 カズアキ 和明
電話番号	075-645-2254
（夜間）	075-642-1111（大代表）
e-mail	kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 知能情報メディア課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 行信 荻野 昭裕 池田 行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(6) 寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代(7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代(3) 任期満了による交代(5) 任期満了による交代(7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画						定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後								
先端理工学部 知能情報メディア課程 学士（工学）	4 年	95 人	103 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	384 人	416 人	令和4 年度	—						
対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	103 （ 2 ） [2]	— （ — ） [—]	103 （ 2 ） [2]	— （ — ） [—]	103 （ 2 ） [2]	— （ — ） [—]	103 （ 2 ） [2]	— （ — ） [—]	—	1.01倍	0.96倍
志願者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	1,481 （ 1 ） [3]	— （ — ） [—]	1,536 （ 2 ） [3]	— （ — ） [—]	1,361 （ 1 ） [3]	— （ — ） [—]	972 （ 1 ） [3]	— （ — ） [—]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳		
受験者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	1,318 （ 1 ） [3]	— （ — ） [—]	1,388 （ 2 ） [3]	— （ — ） [—]	1,268 （ 1 ） [2]	— （ — ） [—]	886 （ 1 ） [3]	— （ — ） [—]			
合格者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	483 （ 1 ） [0]	— （ — ） [—]	512 （ 1 ） [1]	— （ — ） [—]	487 （ 1 ） [1]	— （ — ） [—]	487 （ 1 ） [1]	— （ — ） [—]			
B 入学者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	109 （ 1 ） [0]	— （ — ） [—]	102 （ 1 ） [0]	— （ — ） [—]	95 （ 1 ） [1]	— （ — ） [—]	99 （ 1 ） [0]	— （ — ） [—]			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.05	—	0.99	—	0.92	—	0.96	—			

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		令和5年度入学生より学生募集停止		
真宗学科	4	880	3年次28	3,576	-	1.05	1.01	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1			
仏教学科	4	145	3年次6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	昭和24	同上			
哲学科	4	118	3年次5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上			
臨床心理学科	4	148	3年次4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	平成24	同上			
歴史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和24	同上			
日本語日文学科	4	267	3年次9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	平成4	同上			
英語英米文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上			
経済学部	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上	令和7年度開設		
現代経済学科	4	600	3年次12	2,424	-	1.06	1.02	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地			
国際経済学科	4	360	3年次7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	同上			
経営学部	4	240	3年次5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	平成18	同上	令和7年度開設		
経営学科	4	540	3年次3	2,107	-	1.02	1.00	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地			
商学科	4	380	3年次3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	令和7	同上			
法学部	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	令和7	令和7	同上	令和7年度開設		
法律学科	4	445	3年次5	1,790	-	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地			
理工学部	4	445	3年次5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	昭和43	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
数理情報学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5			
電子情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	同上			
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08	-	-	-	令和7年度開設		
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地			
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上			
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成28	同上			
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	令和7	令和7	同上			
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成27年度入学生より学生募集停止		
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地			
政策学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度開設		
政策学科	4	308	3年次5	1,242	-	1.06	1.04	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地			
	4	308	3年次5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	同上			

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99	-			
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00	-			
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-				
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-				
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」とは、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 電子情報通信課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室（企画推進）

職名・氏名 カイン スミダ カズアキ
課員 角田 和明

電話番号 075-645-2254

（夜間） 075-642-1111（大代表）

e-mail kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 電子情報通信課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 行信 荻野 昭裕 池田 行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(6) 寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代(7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代(3) 任期満了による交代(5) 任期満了による交代(7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画						定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後			
先端理工学部 電子情報通信課程 学士（工学）	4 年	95 人	103 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	384 人	416 人	令和4 年度	—						
対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	103 (2) [2]	人 (103) (2) [2]	人 (103) (2) [2]	人 (103) (2) [2]	—			0.97倍 —			
志願者数	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	1,545 (1) [2]	人 (1,607) (-) [0]	人 (1,448) (-) [1]	人 (955) (-) [2]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳						
受験者数	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	1,354 (1) [2]	人 (1,430) (-) [0]	人 (1,325) (-) [1]	人 (869) (-) [1]							
合格者数	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	607 (1) [1]	人 (624) (-) [0]	人 (709) (-) [0]	人 (592) (-) [1]							
B 入学者数	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	105 (1) [1]	人 (109) (2) [0]	人 (87) (-) [0]	人 (92) (-) [0]							
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.01	1.05	0.84	0.89							

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		令和5年度入学生より学生募集停止		
真宗学科	4	880	3年次28	3,576	-	1.05	1.01	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1			
仏教学科	4	145	3年次6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	昭和24	同上			
哲学科	4	118	3年次5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上			
臨床心理学科	4	148	3年次4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	平成24	同上			
歴史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和24	同上			
日本語日文学科	4	267	3年次9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	平成4	同上			
英語英米文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上			
経済学部	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上	令和7年度開設		
現代経済学科	4	600	3年次12	2,424	-	1.06	1.02	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地			
国際経済学科	4	360	3年次7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	同上			
経営学部	4	240	3年次5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	平成18	同上	令和7年度開設		
経営学科	4	540	3年次3	2,107	-	1.02	1.00	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地			
商学科	4	380	3年次3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	令和7	同上			
法学部	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	令和7	令和7	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
法律学科	4	445	3年次5	1,790	-	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地			
理工学部	4	445	3年次5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	昭和43	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
数理情報学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5			
電子情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	同上			
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08	-	-	同上	令和7年度開設		
社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	-	-	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地			
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上			
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成28	同上			
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	令和7	令和7	同上			
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	同上	平成27年度入学生より学生募集停止		
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地			
政策学部	4	308	3年次5	1,242	-	1.06	1.04	-	-	同上	令和7年度開設		
政策学科	4	308	3年次5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地			

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99				
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00				
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-				
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-				
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 機械工学・ロボティクス課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室（企画推進）
職名・氏名	カイン 課員 スミダ 角田 カズアキ 和明
電話番号	075-645-2254
（夜間）	075-642-1111（大代表）
e-mail	kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 機械工学・ロボティクス課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 行信 荻野 昭裕 池田 行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(6) 寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代(7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代(3) 任期満了による交代(5) 任期満了による交代(7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画						定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考					
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員								
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後		
先端理工学部 機械工学・ロボティクス課程 学士（工学）	4 年	105 人	113 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	424 人	456 人	令和4 年度	—					
対 象 年 度 区 分	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学			
A 入学定員	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	113 （ 2 ） [2]	113 （ 2 ） [2]	113 （ 2 ） [2]	113 （ 2 ） [2]	—			1.00倍 			

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
文学部	年	人	年次人 3年次 28	人 3,576	-	倍 1.05	倍 1.01	年度	年度		令和5年度入学生より学生募集停止	
真宗学科	4	145	3年次 6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1		
仏教学科	4	118	3年次 5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上		
哲学科	4	148	3年次 4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	昭和24	同上		
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成24	同上		
歴史学科	4	267	3年次 9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	昭和24	同上		
日本語日文学科	4	101	3年次 2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上		
英語英米文学科	4	101	3年次 2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上		
経済学部	4	600	3年次 12	2,424	-	1.06	1.02	-			令和7年度開設	
現代経済学科	4	360	3年次 7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地		
国際経済学科	4	240	3年次 5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	平成18	同上		
経営学部	4	540	3年次 3	2,107	-	1.02	1.00	-			令和7年度開設	
経営学科	4	380	3年次 3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地		
商学科	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	令和7	令和7	同上		
法学部	4	445	3年次 5	1,790	-	1.03	0.99	-			令和2年度入学生より学生募集停止	
法律学科	4	445	3年次 5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地		
理工学部	4	-	-	-	-	-	-	-			令和2年度入学生より学生募集停止	
数理情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5		
電子情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上		
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上		
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上		
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上		
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上		
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08	-			令和7年度開設	
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地		
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上		
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成28	同上		
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	令和7	令和7	同上		
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-			平成27年度入学生より学生募集停止	
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地		
政策学部	4	308	3年次 5	1,242	-	1.06	1.04	-			令和2年度入学生より学生募集停止	
政策学科	4	308	3年次 5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地		

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99				
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00				
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-				
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-				
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 応用化学課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室（企画推進）

職名・氏名 カイン スミダ カズアキ
課員 角田 和明

電話番号 075-645-2254

（夜間） 075-642-1111（大代表）

e-mail kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 応用化学課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 行信 荻野 昭裕 池田 行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(6) 寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による(7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代(7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代(3) 任期満了による交代(5) 任期満了による交代(7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画						定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後			
先端理工学部 応用化学課程 学士（工学）	4 年	95 人	103 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	384 人	416 人	令和4 年度	—						
対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 103 (2) [2]	人 — (—) [—]	人 103 (2) [2]	人 — (—) [—]	人 103 (2) [2]	人 — (—) [—]	人 103 (2) [2]	—	0.98倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	991 (—) [2]	— (—) [—]	1,262 (1) [2]	— (—) [—]	1,227 (—) [0]	— (—) [—]	1,236 (1) [2]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	891 (—) [2]	— (—) [—]	1,110 (1) [2]	— (—) [—]	1,125 (—) [0]	— (—) [—]	1,117 (1) [1]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	686 (—) [2]	— (—) [—]	752 (1) [2]	— (—) [—]	793 (—) [0]	— (—) [—]	695 (0) [0]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	90 (—) [1]	— (—) [—]	102 (1) [2]	— (—) [—]	116 (—) [0]	— (—) [—]	102 (0) [0]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	0.87	—	0.99	—	1.12	—	0.99				

(注)・当該調査対象の学部等の名称、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。
- ・該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
- ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
	4	880	3年次28	3,576	-	1.05	1.01						
真宗学科	4	145	3年次6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	令和5年度入学生より学生募集停止		
仏教学科	4	118	3年次5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上			
哲学科	4	148	3年次4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	昭和24	同上			
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成24	同上			
歴史学科	4	267	3年次9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	昭和24	同上			
日本語日文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上			
英語英米文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上			
経済学部	4	600	3年次12	2,424	-	1.06	1.02						
現代経済学科	4	360	3年次7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地			
国際経済学科	4	240	3年次5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	平成18	同上			
経営学部	4	540	3年次3	2,107	-	1.02	1.00						
経営学科	4	380	3年次3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地	令和7年度開設		
商学科	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	令和7	令和7	同上			
法学部	4	445	3年次5	1,790	-	1.03	0.99						
法律学科	4	445	3年次5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地			
理工学部	4	-	-	-	-	-	-						
数理情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	令和2年度入学生より学生募集停止		
電子情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08						
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地	令和7年度入学生より学生募集停止		
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上	令和7年度入学生より学生募集停止		
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成28	同上	令和7年度入学生より学生募集停止		
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	令和7	令和7	同上	令和7年度開設		
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-						
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地	平成27年度入学生より学生募集停止		
政策学部	4	308	3年次5	1,242	-	1.06	1.04						
政策学科	4	308	3年次5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地			

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99				
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00				
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-				
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-				
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

対象校No.

注1

学校コード F126310107626

注2

変更年度

令和

4年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

龍谷大学 先端理工学部 環境科学課程

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人龍谷大学

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室（企画推進）
職名・氏名	カイン スミダ カズアキ 課員 角田 和明
電話番号	075-645-2254
（夜間）	075-642-1111（大代表）
e-mail	kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①先端理工学部 環境科学課程	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人龍谷大学

(2) 大 学 名

龍谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
(〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イワガミ トモヤス) 石上 智康 (平成26年9月11日)	(イケダ ギョウシン) (オギノ アキヒロ) (イケダ ギョウシン) (ソノキ ギコウ) 池田 一行信 荻野 昭裕 池田 一行信 園城 義孝 (令和5年5月31日) (令和6年3月8日) (令和6年12月20日) (令和7年3月7日)	寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による (6) 寄附行為第6条に規定されている 浄土真宗本願寺派総長の就退任 による (7)
学 長	(イリサワ タカシ) 入澤 崇 平成29年4月1日	(アンドウ トオル) 安藤 徹 令和7年3月31日	任期満了による交代 (7)
学 部 長	(マツキダイラ ジュンタ) 松木平 淳太 令和2年4月1日	(トノムラ ヨシノブ) (キシモト ナオユキ) (ミヤタケ トモヒロ) 外村 佳伸 岸本 直之 宮武 智弘 (令和3年4月1日) (令和5年4月1日) (令和7年4月1日)	任期満了による交代 (3) 任期満了による交代 (5) 任期満了による交代 (7)
学科長等	(該当なし)	(該当なし)	

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画						定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考							
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員										
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後									
先端理工学部 環境科学課程 学士（工学）	4 年	95 人	103 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	384 人	416 人	令和4 年度	—	令和7年度より、入学定員の変更103人→88人（7）						
対 象 年 度 区 分	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学				その他の学期	
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	103 (2) [2]	103 (2) [2]	103 (2) [2]	88 (2) [2]	—								
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	617 (—) [1]	— (—) [—]	657 (—) [0]	— (—) [—]	1,073 (—) [2]	— (—) [—]	1,230 (—) [0]	— (—) [—]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.86倍	—		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	557 (—) [0]	— (—) [—]	591 (—) [0]	— (—) [—]	968 (—) [0]	— (—) [—]	1,132 (—) [0]	— (—) [—]					
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	396 (—) [0]	— (—) [—]	442 (—) [0]	— (—) [—]	644 (—) [0]	— (—) [—]	640 (—) [0]	— (—) [—]					
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	64 (—) [0]	— (—) [—]	80 (—) [0]	— (—) [—]	104 (—) [0]	— (—) [—]	91 (—) [0]	— (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—		0.62		0.77		1.00		1.03						

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		令和5年度入学生より学生募集停止		
真宗学科	4	880	3年次28	3,576	-	1.05	1.01	-	平成4	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1			
仏教学科	4	145	3年次6	592	学士(文学)	1.01	0.96	-	昭和24	同上			
哲学科	4	118	3年次5	482	学士(文学)	1.11	1.06	-	昭和24	同上			
臨床心理学科	4	148	3年次4	600	学士(文学)	1.07	1.02	-	平成24	同上			
歴史学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和24	同上			
日本語日文学科	4	267	3年次9	1,086	学士(文学)	1.05	1.01	-	平成4	同上			
英語英米文学科	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.03	1.00	-	平成4	同上			
経済学部	4	101	3年次2	408	学士(文学)	1.02	0.99	-	平成4	同上	令和7年度開設		
現代経済学科	4	600	3年次12	2,424	-	1.06	1.02	-	平成18	京都市伏見区深草塚本町67番地			
国際経済学科	4	360	3年次7	1,454	学士(経済学)	1.09	1.05	-	平成18	同上			
経営学部	4	240	3年次5	970	学士(経済学)	1.02	0.98	-	平成18	同上	令和7年度開設		
経営学科	4	540	3年次3	2,107	-	1.02	1.00	-	昭和41	京都市伏見区深草塚本町67番地			
商学科	4	380	3年次3	1,947	学士(経営学)	1.02	0.99	-	令和7	同上			
法学部	4	160	-	160	学士(経営学)	1.09	1.09	令和7	令和7	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
法律学科	4	445	3年次5	1,790	-	1.03	0.99	-	昭和43	京都市伏見区深草塚本町67番地			
理工学部	4	445	3年次5	1,790	学士(法学)	1.03	0.99	-	昭和43	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
数理情報学科	4	-	-	-	-	-	-	-	平成元	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5			
電子情報学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	平成元	同上			
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
物質化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成元	同上			
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
環境ソリューション工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成15	同上			
社会学部	4	450	-	450	-	1.08	1.08	-	-	同上	令和7年度開設		
社会学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成元	京都市伏見区深草塚本町67番地			
コミュニティマネジメント学科	4	-	-	-	学士(社会学)	-	-	-	平成16	同上			
現代福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成28	同上			
総合社会学科	4	450	-	450	学士(社会学)	1.08	1.08	令和7	令和7	同上			
国際文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	同上	平成27年度入学生より学生募集停止		
国際文化学科	4	-	-	-	学士(国際文化学)	-	-	-	平成8	京都市伏見区深草塚本町67番地			
政策学部	4	308	3年次5	1,242	-	1.06	1.04	-	-	同上	令和2年度入学生より学生募集停止		
政策学科	4	308	3年次5	1,242	学士(政策学)	1.06	1.04	-	平成23	京都市伏見区深草塚本町67番地			

国際学部	4	507	3年次 30	2,088	-	1.03	0.99				
国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士 (国際文化)	1.02	0.99	-	平成27	京都市伏見区深草 塚本町67番地	
グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士 (グローバル スタディーズ)	1.06	0.98	-	平成27	同上	
農学部	4	438	3年次 30	1,812	-	1.01	1.00				
生命科学科	4	90	3年次 8	376	学士 (農学)	1.04	1.03	-	平成27	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	
農学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	0.93	-	-	平成27	同上	
食品栄養学科	4	80	3年次 4	328	学士 (農学)	0.99	-	-	平成27	同上	令和5年度から編入学定員変更 (0→4)
食料農業システム学科	4	134	3年次 9	554	学士 (農学)	1.08	1.05	-	平成27	同上	
先端理工学部	4	613	3年次 12	2,521	-	0.96	-				
数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (理学)	0.94	-	令和4	令和2	滋賀県大津市瀬田 大江町横谷1番5	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	1.01	0.96	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.97	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士 (工学)	1.00	0.97	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (105→113)
応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士 (工学)	0.98	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103)
環境科学課程	4	88	3年次 2	401	学士 (工学)	0.86	-	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更 (95→103) 令和7年度から入学定員変更 (103→88)
心理学部	4	255	3年次 10	775	-	0.99	-				
心理学科	4	255	3年次 10	775	学士 (心理学)	0.99	-	令和5	令和5	(1,2年次) 京都市伏見区深草塚 本町67番地 (3,4年次) 京都市下京区七条通 大宮東入ル大工町125 番地の1	令和5年度開設
大学全体	4	5,036	3年次 135	18,785	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和3年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。